



資料 1-1 令和6年度当初予算案と主要事業（「育てる」に対する政策） 「ばらで輝くまちあやせ」への取組み【継続】

（予算の概要 P.18）

◆ 予算額 16,920千円

◆ 事業のねらい

令和7年5月の光綾公園ローズガーデンのリニューアルオープンを機に、市民が様々な場所で市の花「ばら」を身近に感じ、「ばらで輝くまちあやせ」として誇りを持てるような施策を展開し、持続可能なまちづくりを進めていきます。

◆ 内容

1 シティプロモーション用横断幕作成【予算額：255千円】

光綾公園ローズガーデンリニューアルをお知らせする横断幕を東名高速道路の高架橋に掲出、通行者へ広くPRし、市の花「ばら」の認知度向上を図ります。

（秘書広報課：0467-70-5606）

2 市庁舎植栽整備工事【予算額：15,998千円】

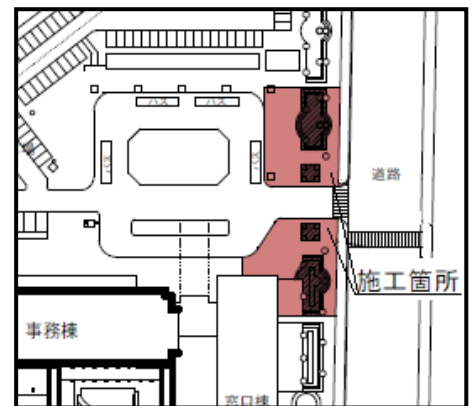
市役所入口交差点付近へ、バラ等を植栽するための花壇等を整備します。

〔整備スケジュール（予定）〕

令和6年度 花壇の設置、沈床地の段差解消

令和7年4月 バラ等の植栽

（公共資産課：0467-70-5603）



3 ばらの普及に向けたイベント等の実施【予算額：667千円】

ローズフェスタ等、「ばら」普及に向けた事業を市民団体とともに実施してまいります。

（みどり公園課：0467-70-5627）

◆ セールスポイント

「ばらで輝くまちあやせ」へは、組織横断的に取り組んでまいります。





資料 1-2 令和6年度当初予算案と主要事業（「育てる」に対する政策） 学習支援クーポン支給事業【新規】

（予算の概要 P. 20）

◆ 予算額 11,423千円

◆ 事業のねらい

生活保護及び就学援助受給世帯の中学3年生を対象として、学習塾のみで使用できる電子クーポンを活用し塾代の一部を助成することで、経済的な事情による学校外での学習体験格差の解消を図ります。

◆ 内容

助成対象：生活保護及び就学援助受給世帯の中学3年生

助成額：子ども一人につき月額1万円を上限※

※月1万円相当で対象月分を積算し、年額でクーポンを支給します

助成対象経費：主要5科目にかかる通塾経費

◆ セールスポイント

- ・クーポン給付とすることで、用途が学習塾に限定されるため、子どもたちに確実に教育の機会を提供することができます。
- ・子どもたちが受けたい教育を選択することができるため、学習意欲の向上が期待できます（利用者のニーズによりクーポン参画事業者を開拓します）。
- ・電子クーポンを活用した通塾支援は県内で初の試みです。





資料 1-3 令和6年度当初予算案と主要事業（「育てる」に対する政策）

ひとり親家庭等に対する交通費等の補助【新規】

（予算の概要 P. 23）

◆ 予算額 12,020千円

◆ 事業のねらい

ひとり親家庭等の生徒が交通費等の経済的負担を理由として、高等学校等への進学先の選択肢を狭め、学びの機会を失うことのないよう、入学時の学用品購入のための費用の給付及び通学定期券の購入に要する経費の補助を行います。

◆ 内容

1 高等学校等入学時学用品購入費給付

(1) 対象者

高等学校等に入学した高校生等（1年生）を養育する児童扶養手当受給世帯等の保護者

(2) 給付内容

高等学校等入学時学用品購入費として、5万円を給付します。

2 通学定期券購入補助

(1) 対象者

高校生等（市外に通う中学生相当の子どもを含む）を養育する児童扶養手当受給世帯等の保護者

(2) 補助内容

通学定期券購入補助として、月額1万円、年間上限12万円を補助します。

◆ セールスポイント

- ・通学定期券購入補助については、1カ月、3カ月、6カ月定期券を選択する事ができます。
- ・申請方法を電子申請とし、窓口や郵送で手続きする必要がありません。
- ・ひとり親家庭等への通学定期券の購入補助事業は、川崎市に次いで県内2番目の実施です。

【関連事業】

○ひとり親家庭に対する放課後児童クラブ保育料の助成（拡充）

（予算の概要 P. 29）





綾瀬市記者発表資料

令和6年2月21日発表
健康子ども部子ども未来課
子育て支援担当
Tel.0467-70-5664

ひとり親家庭は、子どもを預けて就労する必要があるため、保護者の負担軽減を図るため、民設放課後クラブの保育料を助成します。

- ・ 予算額 9,360 千円
- ・ 拡大対象 ひとり親家庭の保護者
- ・ 現行対象 生活保護世帯、非課税世帯、兄弟で利用している世帯
- ・ 助成額 月額保育料の 10/10 の額
(上限)

1～3 年生：13,000 円

4～6 年生：10,000 円

※公設放課後クラブの場合は、保育料を減免します

(保育課：0467-70-5615)





資料1-4 令和6年度当初予算案と主要事業（「育てる」に対する政策）

幼児同乗用自転車購入費の補助【新規】

（予算の概要P.24）

◆ 予算額 5,000千円

◆ 事業のねらい

自転車を必要とする子育て世帯の経済的負担を軽減するため、「幼児2人同乗用自転車レンタル事業」から子どもが1人の世帯まで対象を拡大し幼児同乗用自転車の購入費の補助事業にリニューアルいたします。

◆ 内容

対象世帯 1歳から就学前までの幼児を1人以上養育している世帯

補助内容 幼児同乗用自転車※の購入費の2分の1を補助

（上限：5万円1世帯1回限り）

※電動アシスト機能の有無は問いません

※新車・中古車は問いませんが、個人間売買は除きます

◆ セールスポイント

- ・恒常的な事業としては県内で初めて、幼児2人同乗用自転車だけでなく幼児を1人同乗させることができる自転車から補助対象とし、補助率を2分の1、補助上限を5万円とすることで手厚い子育て支援とします。
- ・これまでの「幼児2人同乗用自転車レンタル事業」は、貸出期間が1年間であり、抽選結果により複数年使用することはできませんでしたが購入費の補助とすることにより、自転車を複数年にわたって使用することができます。





資料 1-5 令和6年度当初予算案と主要事業（「育てる」に対する政策） 幼稚園教諭の雇用環境の改善【新規】

（予算の概要 P.27）

◆ 予算額 39,593千円

◆ 事業のねらい

特定の判定は受けていないが発達上の特性から幼稚園の生活において困難を抱えており、特別な支援が必要と考えられる子ども（気になる子）を預かるため、法定基準以上に幼稚園教諭を配置する施設の雇用環境を改善します。

◆ 内容

気になる子の幼児教育にかかる人件費の一部を補助

補助額：対象園児一人当たりの月額 32,667円

※該当年度5月1日現在の在籍園児数の10%を上限とします。

◆ セールスポイント

- 令和4年度に実施した保育士の雇用環境の改善と同様に、幼稚園教諭の雇用環境を改善することで、市内全体の乳児・幼児の預かりに関わる雇用環境の改善を図ります。





資料 1-6 令和6年度当初予算案と主要事業（「育てる」に対する政策） 子育て短期支援事業の実施【新規】

（予算の概要 P. 28）

◆ 予算額 6,092千円

◆ 事業のねらい

保護者の疾病や仕事などの事由により、子どもの養育が一時的に困難となった場合や、育児疲れ等による保護者負担の軽減が必要な場合に、子どもを施設において一時的に養育し、育児と就労の両立の促進を図ります。

◆ 内容

子育て短期支援事業を実施するため、民間事業者へ運営を委託します。宿泊を伴うショートステイと、日中のみのデイステイがあります。

・場 所 市内児童養護施設及び乳児院

・実施日数 0歳～1歳

（利用料金） ショートステイ（9,000円／1泊2日） 月1回

デイステイ（4,500円） 週4日

2歳～12歳

ショートステイ（6,000円／1泊2日） 月1回

※開設後は事業へのニーズに応じて調整していきます

※生活保護受給者、市民税非課税世帯等は利用料の減免があります

・定 員 各2人

・開 所 日 令和6年10月1日

◆ セールスポイント

出産や病気、事故などで養育が困難になった場合に対応できるため、保護者の養育への負担が軽減できるほか、冠婚葬祭や出張などでも利用可能であり、保護者の社会参加の促進を図ることができます。

【関連事業】

○産後ケア事業の充実（拡充）

（予算の概要 P. 30）

産後も安心して子育てできる支援体制を確保するため、訪問型に加え、デイサービス型と宿泊型の事業を実施します。

◆ 予 算 額 5,135千円

◆ 内 容 デイサービス型 病院で日中5時間（1,500円）

（利用料金） 宿泊型 病院に宿泊（3,000円／1泊2日）

（健康づくり推進課：0467-77-1133）





資料 1-7 令和6年度当初予算案と主要事業（「育てる」に対する政策） 学力向上事業の実施（読解力の向上）【新規】

（予算の概要 P. 35）

◆ 予算額 894千円

◆ 事業のねらい

新聞記事を基に作成された教材を活用し、読解力に特化した学習時間を、市内全小学校の5・6年生を対象に統一的・継続的に設けることで、学力向上を図ります。

◆ 内容

○使用教材 「よむYOMUワークシート」（読売新聞社提供）

○導入方法 朝自習の時間等を活用し、継続的に学習時間を設けます
（年間30回の配信）

○導入理由

・読解力の向上

実用的な文章から、書き手の意図を捉え、必要な情報を取り出す力を培うことができます。さらに、取り出した情報を整理し、自分の意見をまとめる能力を培う学習を検討していきます。

・多様な分野への興味関心の向上

教科書では取り扱うことが難しい時事的な問題に触れることで、児童の視野の広がりが期待できます。

・教員の負担軽減

新聞を活用した教材の有用性は認識されていたものの、記事選択から問題作成までの準備は教員の負担が大きく、統一的・継続的は困難でしたが、配信教材を活用することで負担を軽減しつつ取り組むことができます。

◆ セールスポイント

新聞記事を基に作成された教材を活用した学習を、市内で統一的に導入することは県内初の取り組みです。





資料 1-8 令和6年度当初予算案と主要事業（「育てる」に対する政策）

不登校及び不登校傾向の児童・生徒への支援【新規】

（予算の概要 P.37）

◆ 予算額 32,516千円

◆ 事業のねらい

不登校等支援員の配置及び校内教育支援教室の環境整備を行い、不登校の未然防止及び学級担任等の負担軽減を図ります。

また、不登校児童・生徒が、最初のきっかけとは別に、勉強がわからないために学校への復帰が難しくなる傾向があることから、オンライン学習教材を導入し、児童・生徒の学びの場の選択肢を広げ、学力の保障を図るとともに、学校への復帰を支援します。

◆ 内容

1 不登校等支援員の配置【予算額：14,814千円】

不登校や不登校傾向の児童に対応するため、不登校等支援員を全小学校へ週5日、1日4時間配置し、朝の登校支援や教室へ直接入室が難しい児童の対応などを行います。

2 校内教育支援教室の環境整備【予算額：16,250千円】

教室に入ることが出来ない不登校傾向の児童が、安心して学習できる環境を整備するため、カーペットやパーティション等で環境を整備し、教室の雰囲気とは異なる校内教育支援教室を全小学校に設置します。

3 オンライン学習教材の導入【予算額：1,452千円】

教育支援教室通室生及び不登校傾向の児童・生徒を対象に、既存のタブレット端末を活用し、アニメーションを活用した動画による問題解説など、児童・生徒が自分のタイミングで、主体的に課題解決を図りながら学習に取り組む教育支援体制を構築します。

◆ セールスポイント

不登校等支援員の配置、校内教育支援教室の環境整備及びオンライン学習教材の導入の3つの新規事業で、不登校及び不登校傾向の児童・生徒それぞれの状況に応じた適切な支援を行ってまいります。





資料 1-9 令和6年度当初予算案と主要事業（「育てる」に対する政策） 光綾公園の再整備【継続】

（予算の概要 P.31）

◆ 予算額 112,670 千円

◆ 事業のねらい

市民の憩いの場である光綾公園の老朽化した施設を改修し、魅力あふれる公園にリニューアルします。

基本方針として「観光資源」、「健康・スポーツ」、「子育て」、「防災」の4本を柱に、市のシンボル公園として更なる魅力の向上を図ります。

◆ 内容

光綾公園ローズガーデンについて、令和6年度は、十分な植栽管理を行い、7年5月の有料化施設としてのオープンを目指します。また、6年度は子育て支援空間の充実として、南側エリアの再整備に着手し、7年秋の全面供用開始を目指します。

令和6年度 光綾公園ローズガーデン入退場ゲート整備工事ほか

令和6～7年度 光綾公園再整備工事（南側エリア）

新設：幼児用遊具広場、駐車場

再整備：水遊び場、樹林散策路、トイレほか

◆ セールスポイント

南側エリアは、子どもたちが伸び伸びと遊べる空間として、既存の大型複合遊具を中心に、幼児用遊具広場、水遊び場、樹林散策路、駐車場などを整備します。





資料 1-10 令和6年度当初予算案と主要事業（「稼ぐ」に対する政策） 道の駅の整備【継続】

（予算の概要 P.43）

◆ 予算額 27,275千円

◆ 事業のねらい

綾瀬スマートインターチェンジの開通による交流人口の増加を最大限に活用するため、円滑な交通環境と人々のにぎわいの場を提供するとともに、地域経済を活性化させ、「綾瀬」の魅力を市内外に発信する拠点として道の駅を整備します。

◆ 内容

令和6年度は、生産者・事業者等関係者の皆様とともに道の駅に必要な施設の詳細について検討するほか、事業用地の取得に向けた測量、関係機関協議等を行います。

【主な事業内容】

- ・事業予定地の用地測量（予算額：16,808千円）
- ・道の駅に導入する施設を検討するためのワークショップの開催等（予算額：5,841千円）
- ・交通協議資料の作成（予算額：4,576千円）

◆ セールスポイント

- ・令和6年1月に道の駅基本計画を公表し、施設の機能や規模、整備運営手法や道の駅実現に向けた今後の取り組みを整理しました。
- ・ワークショップの開催等により、開業に向けて市民の皆様をはじめ関係者の機運を高め、参画意識を醸成しながら、事業進捗を図ってまいります。
- ・基本計画でコンセプトに掲げた「あやせの魅力を感じられる場所」「富士山を眺望しながら子どもから大人までが楽しい時間を過ごせる場所」の実現に向け引き続き取り組んでまいります。





資料 1-11 令和6年度当初予算案と主要事業（「支える」に対する政策） 地域・まちづくり DX の推進【新規】

（予算の概要 P. 46）

◆ 予算額 15,070千円

◆ 事業のねらい

多様な主体との連携を促進し、デジタル技術を活用しながら、地域の特性に合ったまちづくり「地域社会における DX」を推進することで、地域課題の解決や魅力向上を図り、住みやすいまちを目指します。

◆ 内容

「地域社会における DX」推進のための全体的な計画策定に向けて、次の取組みを実施します。

・ 現状課題分析

地域課題とデジタル技術の活用による解決の方向性を整理します。

・ まちづくり DX ビジョン策定

「綾瀬市総合計画 2030」で示す地域社会の目指すべきまちの姿等を実現するための、デジタル技術活用のビジョンを策定します。

・ 施策・サービス検討

ビジョンの実現に向けたサービスの内容や、取組みの順序等のロードマップを検討します。

◆ セールスポイント

人口減少・高齢化など限られた資源の中で、デジタル技術を活用し、住民に密着した様々な政策分野における地域社会の課題を解決します。





資料 1-12 令和6年度当初予算案と主要事業（「支える」に対する政策） 介護認定・審査業務の効率化【新規】

（予算の概要 P.52）

◆ 予算額 100,403千円

◆ 事業のねらい

介護保険制度における認定申請者数が増加の一途をたどる一方で、介護認定調査員などの人材不足が想定されることから、デジタル技術の活用等により認定調査及び審査会業務を効率化し、市民サービスの向上を図ります。

◆ 内容

データ化された資料により介護認定業務が遂行できるよう、認定調査用モバイル端末10台、審査会用端末28台のほか関連機器類を導入します。

導入費用：認定審査会システム導入委託 96,575千円
システム使用料ほか関係費用 3,828千円

スケジュール：令和6年4月～9月 システム構築期間
6年10月～12月 システム試験期間
7年1月～ システム運用開始

導入効果：調査票の作成・点検時間の短縮（30分減/件：150時間減/月）
審査会における審査時間の短縮（25%減）
審査対応件数の増（30件/回→35件～40件/回）

◆ セールスポイント

認定調査に伴う認定調査票の作成・点検時間、審査会における審査時間の短縮により、介護認定の判定を平均4日※短縮することができます。

※導入前の平均日数 45日





資料 1-13 令和6年度当初予算案と主要事業（「支える」に対する政策）

带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成【新規】

（予算の概要 P.58）

◆ 予算額 29,197千円

◆ 事業のねらい

带状疱疹が治った後も強い痛みが続く「带状疱疹後神経痛」と呼ばれる合併症は根本的な治療方法がなく、予防にはワクチン接種が有効であることから、費用の一部を助成し、带状疱疹の発症及び重症化予防を図ります。

◆ 内容

带状疱疹ワクチン接種費用の一部を助成します。

対象者：50歳以上の方

対象者数：約1,600人

・不活化ワクチン費用助成

接種回数：2回／人

助成費用：10,000円／回（接種費用20,000円程度）

・生ワクチン費用助成

接種回数：1回／人

助成費用：3,000円／回（接種費用7,000円～10,000円程度）

◆ セールスポイント

带状疱疹ワクチンの接種費用は高額であることから接種を躊躇する方が多いため、費用の一部を助成することで带状疱疹の発症及び重症化予防を図ります。

